

安全性能



開発スタッフが追い求め続けた、スポーツカーとしての「曲がる」「走る」「操る」「見る・見られる」楽しさ。これも、「安全」があってこそ、初めて楽しめるものです。

S660では、軽量・高強度・高剛性の「一線入魂ボディ」を中核とし、ここに様々な衝撃吸収構造を盛り込んだり、被害を最小限に抑えるためのデバイスなどを装備したりすることで、優れたパッシブセーフティを実現するのはもちろんのこと、事故を未然に防ぐためのアクティブセーフティ性能をしっかりと高めました。



何より大事なのは「素」の良さ

「素」の良さに徹底してこだわりました。特にドライビングポジションや操作系の配置、エンジンの配置や足回りのジオメトリ、安全性も……これらはどんなアフターパーツでもカスタマイズできませんから。各分野のスタッフが協調しながら、シンプルでバランスのいい一台を完成させられたと思っています。

衝突安全担当
坂元玲



1/1プラモ感覚で

シンプルなスポーツカーというコンセプトを崩さずに、先進の安全装備をしっかりと適用できたことは、私にとって誇りの持てる仕事でした。クルマの基本はしっかりと作り込みましたから、そのまま乗るもよし、カスタムするもよし、1/1プラモみたいな感覚で自分らしく楽しんでいただければ最高ですね。

先進安全担当
阪田泰史